

お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

- このたびは日立リニューアルセットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

警告



禁止

- ランプ・点灯装置の改造又は分解はしない。
※落下・感電・火災の原因となります。
- ランプを紙や布など燃えやすいものでおったり、かぶせたりして使用しない。
※火災の原因となります。



必ず守る

- 取り付け、取り外しや器具清掃のときは、必ず電源を切る。
※電源を切らない場合、感電の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切る。
※切らない場合、火災の原因となります。
- お手入れやランプ交換は、取扱説明書により確実に行う。
※取扱説明書に従わない場合、火災・感電・ランプ落下によるけがの原因となります。

注意



禁止

- 器具の近くで温度が高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。
※火災の原因となります。
- 落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしない。
※破損・けがの原因となります。



必ず守る

- ランプ交換の際には、本体表示及び、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用する。
※火災・不点灯の原因となります。
- 明るく安全に使用するために、定期的に清掃・点検をする。
不具合がある場合は、そのまま使用せず工事店・電器店に修理を依頼する。
- 3年に1回は電気工事店等専門家による点検を実施して、不具合がある場合は、交換する。
- ソケットに確実に取り付ける。
※ランプ落下によるけがの原因となります。
- ランプに点灯装置からの給電ケーブルを確実に取り付ける。
※過熱の原因となります。

ご使用上の注意

- 電波の弱い場所（山間、鉄筋建物など）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。なお、配線によってはさらに影響が大きくなる場合があります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどをご使用するのはお避けください。リモコンが動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一ランプ内でもLED素子のバラツキによる発光色のムラ、明るさのムラが生じる場合があります。

3. 取り付けかた

- 下図は取り扱い説明のための代表例です。
- 施工手順（下記は2灯用の場合の説明図ですので、器具の灯数に合わせて施工してください）
・必要工具：ニッパー、ドライバー、ストリッパー、ドリル工具

1. 既設ランプ、反射板の取外し

電源を切ってから、既設の蛍光ランプ、器具の反射板を取り外してください。



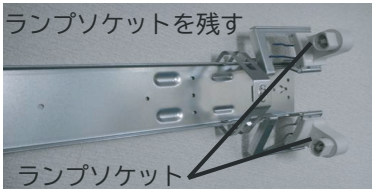
必ず電源を切ってから作業を開始してください。

必ず守る



2. 既設配線の取り外し

ランプソケットを残して、内部配線を取り外してください。



3. 点灯装置の取り付け

器具に付いている安定器を取り外し、空いたスペースにネジ等により点灯装置を取り付けてください。
既存の器具に確実に取り付け、点灯装置のアースと器具のアースが電氣的に導通するように取り付けてください。



4. 結線

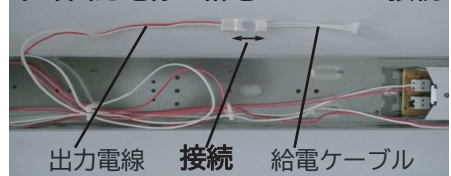
- (1) 点灯装置の入力電線を電源に確実に接続してください。

(1) 入力電線を接続



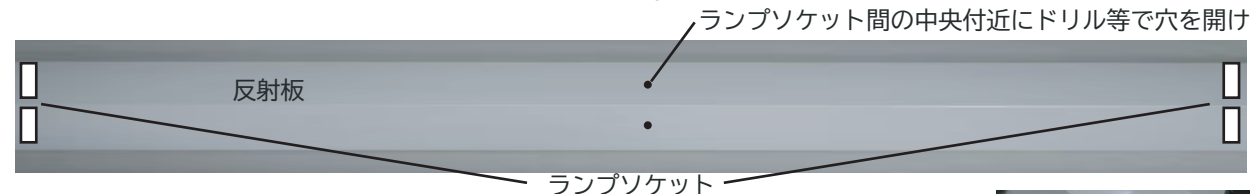
- (2) 点灯装置の出力電線に付属品の給電ケーブルを確実に接続してください。

(2) 出力電線に給電ケーブルを接続

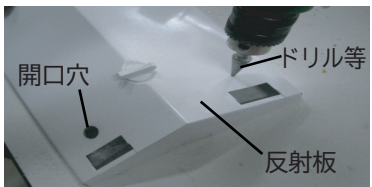


5. 反射板の加工

- (1) 直管形LEDランプの中央部を支えるため、取り外した反射板のランプソケット間の中央付近に、ドリル等でランプホルダーの取り付け穴(穴径：M3ネジ用 約φ3.5mm)を開けてください。



- (2) 反射板に給電ケーブルを通す穴を、ドリル等(穴径：φ12mm)でソケットから半径40mm以内に開けてください。開口穴は器具の強度を損なう場所には開けないでください。
※直管形LEDランプのランプ形式表示側に給電ケーブル差込み口がありますので、ランプ取り付け時の方向を考慮し加工してください。



6. ランプホルダーの取り付け

付属品のランプホルダーを、5.(1)で開けたランプホルダー用の取り付け穴に、付属品のネジとナットで確実に取り付けてください。

